
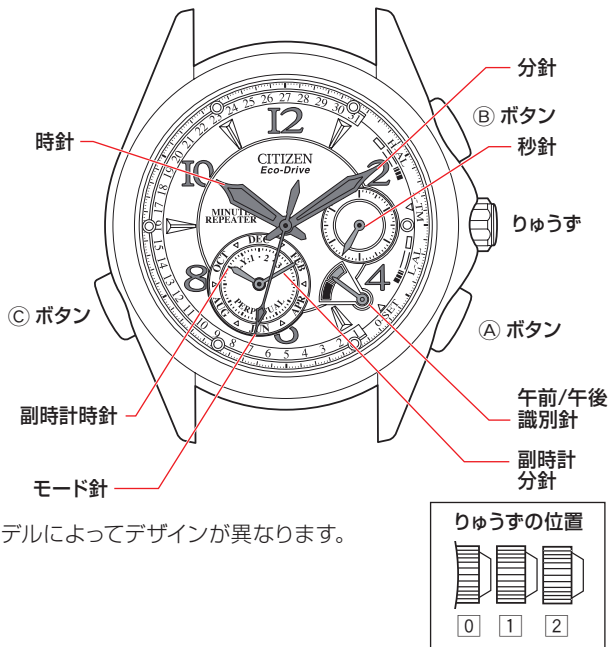


G90x 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  G90x 取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

時刻を合わせる

この時計には、基本時計（時針、分針、秒針）と副時計（副時計時針、副時計分針、午前 / 午後識別針、カレンダー）があります。

- 秒針が 0 秒を指しているときに、りゅうずの位置を ② にする
秒針が止まります。

基本時計の時刻を合わせる

- りゅうずを回して、基本時計の時刻を合わせる

副時計の時刻を合わせる

- ① ボタンを押して、副時計の時刻を合わせる
 - ① ボタンを押すごとに 1 分ずつ進みます。
 - ボタンを押し続けると、連続して動きます。
 - 副時計の時と分は連動します。
 - 午前 / 午後識別針を見て、午前午後の違いに注意します。



- 時報に合わせて、りゅうずの位置を ① にする
秒針が動きはじめます。

音で時刻を確認する

- りゅうずの位置を ① にする

・モード針が日を指していないときは、③ ボタンをくり返し押し、日を指すようにします。

- ② ボタンを押す

高低 2 種の音で副時計の時刻を知らせます。

- 音による時刻は、「時」、「15 分」単位の分、「1 分」単位の分の 3 つから構成されます。
- 音の意味

高さ	長さ	意味
高い	長い	「時」
低い	長い	「1 分」
高低の組み合わせ	短い 2 音	「15 分」

・例：4 時 36 分の場合

	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	⑤	⑥
高音	♪	♪	♪	♪	♪	♪						
低音							♪	♪	♪	♪	♪	♪
時間	4 時				15 分 × 2		6 分					
時刻	4 時				36 分							

音を途中で止めるには

いずれかのボタンを押します。

カレンダーを合わせる

・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。（パーペチュアルカレンダー）

- りゅうずの位置を ① にする

副時計時針が「年」、副時計分針が「月」を示し、モード針が「日」を示します。

- ② ボタンを押して、日を合わせる

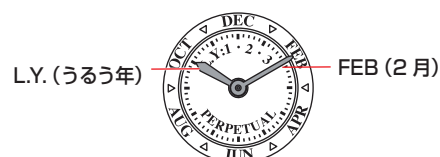
- ② ボタンを押すごとに 1 日ずつ進みます。
- ボタンを押し続けると、連続して動きます。

- ③ ① ボタンを押して、年と月を合わせる

- ③ ① ボタンを押すごとに、針が 1 月ずつ進みます。
- ボタンを押し続けると、連続して進みます。
- 副時計時針と副時計分針は、連動します。
- 年の表示は、うるう年からの経過年数で示されます。
- うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

うるう年からの経過年数	表示
うるう年	L.Y.
1 年目	1
2 年目	2
3 年目	3

例：うるう年の 2 月に合わせた場合



- りゅうずの位置を ① にして終了する

副時計にローカルタイムを表示させる

副時計時針と副時計分針に、他の地域の時刻（ローカルタイム）を、30分単位で表示させることができます。

・基本時計と副時計の時刻が異なっていると、ローカルタイムは正しく表示されません。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. **◎ ボタン**を押して、モード針を「L-TM」に合わせる
現在設定されているローカルタイムが表示されます。
 - ・ローカルタイムを修正するときは、手順3に進みます。修正しないときは、手順4に進みます。
3. **Ⓐ ボタン**を押して、時刻を合わせる
 - ・**Ⓐ ボタン**を押すごとに針が30分ずつ進みます。
 - ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
 - ・午前/午後識別針を見て、午前午後の違いに注意します。
 - ・時と分は連動します。
4. **◎ ボタン**をくり返し押し、日を表示させて終了する
 - ・何も操作せずに1分間経過すると、自動で副時計と日の表示に戻ります。





アラームを使う

デイリーアラームとローカルタイムアラームの、2種類のアラームを使うことができます。

・基本時計と副時計の時刻が異なっていると、アラームは適切に鳴りません。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. **◎ ボタン**を押して、モード針を「H-AL」または「L-AL」に合わせる
副時計時針が、現在設定されているアラーム時刻の「時」を、副時計分針が「分」を示し、モード針が、モードとアラームのON/OFF設定を示します。

アラームの種類

モード針の位置	アラームの内容	ON/OFFの設定
H-AL	デイリーアラーム： 副時計の任意の時刻にアラームを設定することができます。	OFF  ON 
L-AL	ローカルタイムアラーム： ローカルタイムの任意の時刻にアラームを設定することができます。	OFF  ON 

・**◎ ボタン**を2秒間以上押すと、アラーム音を確認することができます。

3. **Ⓐ ボタン**を押して、アラーム時刻を設定する
 - ・**Ⓐ ボタン**を押すごとに針が1分ずつ進みます。
 - ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
 - ・午前/午後識別針を見て、午前午後の違いに注意します。
 - ・時と分は連動します。
4. **◎ ボタン**をくり返し押し、日を表示させて終了する
 - ・何も操作せずに1分間経過すると、自動で副時計と日の表示に戻ります。

アラーム音を止める

いずれかのボタンを押します。

アラームのONとOFFを切り替える

手順3で、**◎ ボタン**を押します。

・ボタンを押すごとに、ONとOFFが交互に切り替わります。

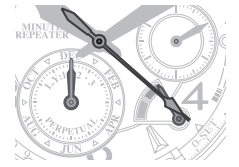
秒を正確に合わせる

基本時計と副時計の「秒」を同時に合わせるができます。

1. **◎ ボタン**を押して、モード針を「O-SET」に合わせる
2. 時報に合わせて、**◎ ボタン**を押す
秒針の位置が0～29秒だったとき：
示していた秒数だけ秒針がその位置で止まり、モード針は秒数を示したあとカウントダウンを行います。
秒針の位置が30～59秒だったとき：
秒針が0秒位置まで進み、動きはじめます。
3. **◎ ボタン**をくり返し押し、日を表示させて終了する
 - ・何も操作せずに2分間経過すると、自動で副時計と日の表示に戻ります。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. **◎ ボタン**を3秒間以上押す
副時計時針、モード針、午前/午後識別針の現在の基準位置が表示されます。
 - ・正しい基準位置
副時計時針、分針：12時位置
モード針：「O-SET」位置
午前/午後識別針：午前の上端



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. いずれかのボタンを押して終了する
 - ・何も操作せずに20秒間経過すると、自動で副時計と日の表示に戻ります。

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を **2** にする
秒針が止まります。
2. **Ⓐ ボタン**、**◎ ボタン**、**◎ ボタン**を同時に2秒間以上押す
モード針と副時計時針/分針が順番に動いたあと、確認音が鳴ります。
3. **Ⓐ ボタン**を押して、副時計時針/分針と午前/午後識別針を合わせる
 - ・午前/午後識別針は午後の下端に合わせます。
 - ・**Ⓐ ボタン**を押すごとに針が1分ずつ進みます。
 - ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
 - ・各針は、連動します。
4. **◎ ボタン**を押して、モード針を「O-SET」に合わせる
 - ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
5. りゅうずの位置を **0** にして終了する
午前/午後識別針が午前の上端に移動して、秒針が動きはじめます。
 - ・基準位置の修正後は、基本時計と副時計の時刻およびカレンダーを合わせ直してください。
 - ・基準位置の修正後に基本時計の時刻を合わせるときの秒針の位置が、秒針の基準位置になります。基本時計を合わせる時、秒針を0秒の位置で止めるよう注意します。

モード針が回転しているときは

反時計回り：基準位置合わせが済んでいません。基準位置を修正し直します。

時計回り：副時計合わせが済んでいません。時刻合わせをやり直します。